

貴重な記録映像と圧巻の生演奏による新しい「映像の世紀」
大スクリーン×加古隆のピアノ&オーケストラ生演奏

映像の世紀 コンサート

室内オーケストラ版

Music by Takashi Kako

加古隆 (音楽・ピアノ) 太田 弦 指揮 山形交響楽団

ナレーション: 山根基世

「映像の世紀バタフライエフェクト」のために書き下ろした
新曲と新映像を追加したコンサート!

※新曲は本編(全7部)に続き、新たに編集された
映像とともにアンコールとして演奏されます。
※公演時間: 2時間15分予定(休憩含む)

●第1部 映像の始まり ●第2部 第一次世界大戦 ●第3部 ヒトラーの野望 ●第4部 第二次世界大戦
●第5部 冷戦時代 ●第6部 ベトナム戦争、若者たちの反乱 ●第7部 現代の悲劇、未来への希望

アンコールとして
第8部、第9部 上映

【演奏曲】パリは燃えているか 時の刻印 シネマトグラフ はるかなる王宮 神のバツサカリア 最後の海戦 未来世紀 大いなるもの東方より マネーは踊る
狂気の影 黒い霧 ザ・サード・ワールド 睡蓮のアトリエ 愛と憎しみの果てに アンコール●「映像の世紀バタフライエフェクト」より 風のリフレイン グラン・ボヤージュ

2025 12/21 [日] 14:00開演 (13:15開場) やまぎん県民ホール 大ホール

料金 (全席指定・税込) S席 12,000円 / A席 10,000円 / B席 8,000円 / U25席 5,000円

※「U-25席」は鑑賞時に25歳以下の方対象。ご入場時に年齢確認のできる身分証をご提示いただく場合がございます。やまぎん県民ホールチケットデスクのみ取扱い。

2025年
11月2日(日)
朝10時
チケット発売

予約 問 やまぎん県民ホールチケットデスク

023-664-2204 (休館日除く
10~19時)

やまぎん県民ホール 検索

プレイガイド

●やまぎん県民ホールチケットデスク(インターネット、電話)
窓口販売は翌11/3(月・祝)朝10時から発売

●チケットぴあ <https://pia.jp/> (Pコード: 312-373)

●イープラス <https://eplus.jp/>

※使用する映像の中には遺体が映っているものがありますが、歴史の実態を記録した映像のためそのまま使用いたします。予めご了承ください。
※未就学児のご入場はお断りいたします。
※出演者・曲目・曲順等に変更がある場合がございます。※車椅子でご来場されるお客様はご購入前にやまぎん県民ホールチケットデスクまで必ずお問い合わせください。

主催: 山形新聞・山形放送 エイベックス・クラシックス 共催: 山形県総合文化芸術館 指定管理者: みんなのやまがた
企画・制作: エイベックス・クラシックス 映像提供: NHK 企画協力: NHKエンタープライズ 制作協力: インタースペース

avex classics
international





映像の世紀コンサート 映像、それは人類の記憶。

映像に込められたメッセージは、時に、世界を引き裂き、
底知れない憎悪を生み出しています。
しかし一方で、映像は、時空を超えて、人々をつなぎます。

音楽と映像がとても深いところで一体化して、
見る人、聴く人に迫ってくるこのコンサートは、
感動の力が通常のコンサートや
通常の映像の鑑賞では想像できないほどの力で
みなさんの心に押し寄せてきます。
それが何ととっても
最大の見どころ、聴きどころです。
その感動を、ぜひ多くの人に
体験していただきたいと思います。

——— 加古 隆

映像の世紀コンサート

動く映像が誕生してから100年余り。王朝時代の貴重な映像、第一次、第二次世界大戦、ベトナム戦争、そして現代の悲劇的な出来事や、未来への希望を願う映像など、世界中のカメラマンが、命をかけて撮影してきた映像の数々は、決して忘れてはならない、人類が蓄積した莫大な「記憶」です。「映像の世紀コンサート」では、1995年から1996年にかけて放送された「映像の世紀」と、2015年から2016年にかけて放送された「新・映像の世紀」のために、世界中から収集された莫大な歴史的映像を、加古隆が作曲した名曲の数々に合わせて、コンサートで上映するために、歴史の流れに沿って再編集した特別な映像が使用されます。また本公演では、アンコールとして、現在放送中の「映像の世紀バタフライエフェクト」のために加古隆が書き下ろした楽曲に合わせて、新たなコンセプトによる映像作品を追加上映いたします。

このコンサートでしか見るることのできない貴重な特別映像は、ステージ上に設置された大スクリーンで上映され、テレビとは比較にならない迫力で、加古隆と大オーケストラが熱演する音楽と一体となって見る者の心にダイレクトに迫ってきます。

ご覧になった多くの聴衆のみなさんが「今までに経験したことのない深い感動」との感想を残される、このコンサートならではの感動体験を、ぜひあなたも会場で一緒に分かち合ってください。

Takashi
Kako



© Yui Hori

加古 隆 (作曲家・ピアニスト)

東京藝術大学・大学院作曲研究室修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に進み、オリヴィエ・メシアンに師事。現代音楽の勉強途上、1973年のパリでフリージャズ・ピアニストとしてデビューするという特異な経歴を持つ。76年に最高位の成績で音楽院を卒業。帰国後はオーケストラや様々な分野の作品、映画音楽、ドキュメント映像の作曲も数多く、ピアニストとしての音色の美しさから「ピアノの詩人」とも評される。2016年度(第68回)日本放送協会 放送文化賞を受賞。2023年がパリでのデビューから50周年となり、記念アルバムとして自選映像音楽集「KAKO DÉBUT 50」をエイベックスから発表。

Gen
Ohta



© Yui ueda

太田 弦 (指揮)

94年札幌市生まれ。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京藝術大学大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を修了。2015年第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。第30回(22年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。25年第 23 回 齋藤秀雄メモリアル基金賞を歴代最年少で受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講。22年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。23年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者、24年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任。

Yamagata
Symphony Orchestra



© Kaoruko Suzuki

山形交響楽団

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など年間約150回の公演を実施している。2007年～2015年「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催。2008年アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2020年より「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を、2022年には「演奏会形式オペラシリーズ」をスタートし、新たな魅力を発信している。2023年12月からは、動画配信サービス「U-NEXT」での映像配信を開始。常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージック・パートナー デク・バボラーク、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親。

Music by Takashi Kako

音楽：加古隆 好評発売中



新・映像の世紀 オリジナル・サウンドトラック
AVCL-25880 定価：¥2,750 (税抜¥2,500)

パリは燃えているか / 神のバツサカリヤ / 未来世紀 /
愛と憎しみの果てに / マネーは踊る / 時の刻印 / 黒い霧 /
はるかなる王宮 / 繁栄と享楽と / 大いなるもの東方より /
シネマトグラフ / 他 全14曲収録



映像の世紀 バタフライエフェクト
オリジナル・サウンドトラック
AVCL-84138 定価：¥2,750 (税抜¥2,500)

グラン・ボヤージュ / パリは燃えているか / 風のリフレイン /
機械工場 / トルストイの手紙 / シネマトグラフ / 神のバツサカリヤ /
ザ・サード・ワールド / 睡蓮のアトリエ / 他 全19曲収録